

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 馬術競技会第4回運営委員会 議事録(概要)

1 日時

令和7年(2025年)8月21日(木曜日) 14:30 ~ 16:15

2 場所

三木ホースランドパーク 大会議室(兵庫県三木市別所町高木)

3 出欠状況(五十音順、敬称略)

出席：荒池委員(丸吉代理)、飯塚委員(藤江代理)、門委員長、小島委員(田中委員)
佐野委員、大東委員(森本代理)、田所副委員長、富田委員、平山副委員長、
本田委員、三宅委員、森田委員(河端代理)、八木委員、山崎委員
(委員定数 14名中 14名出席)

事務局：辻事務局長、他事務局職員7名

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

報告事項(1) わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について

※ 事務局より説明

【質疑・意見】なし

審議事項(1) わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会大会開催方針(案)について

※ 事務局より説明

⇒原案どおり承認

【質疑・意見】

<副委員長>

夜間警備について、警備会社が実施するのか。

<事務局>

警備会社が実施する予定である。

<副委員長>

基本的に夜間に厩舎出入りする人間は、所属や氏名を書かせるなど、チーフスチュワードと相談して管理を徹底する必要があると思う。

<事務局>

ご指摘のとおり対応したい。

<副委員長>

馬事衛生に関して、1日2回の馬の健康観察巡回は、誰が実施するのか。

<事務局>

動員する滋賀県職員の獣医師が実施する予定である。

<副委員長>

その際には、日本馬術連盟の獣医師ともよく打ち合わせをしていただきたい。厩舎や馬房の中で治療行為をしてはいけない、禁止薬物を持ち込んでいたら処罰対象になるので、その点も日本馬術連盟の獣医師団長とよく相談して巡回をお願いしたい。

<事務局>

ご指摘のとおり対応したい。

<委員>

バスの手配について、バスが不足しているとの話であったが、どの程度不足しているのか。

<事務局>

現状としては、選手の各ホテルに行くバスが、1台あるかないかの状況で、選手のホテルが6か所にわかれているので、ルートを作れば回れる。台数としては3台～5台程度。

<委員>

経験と推測によると、選手や監督は馬の世話もあり、早めの時間に自分自身の車で移動されると思うが、各団体の会長等の関係者は、競技時間までに到着すればよいので、選手と別行動になることが予想される。そのため、バスの配車を全くゼロにするのはどうかという思いがある。ルートを作って巡回する形でもバスを配車したほうがよいと個人的には思う。

<事務局>

ご指摘を踏まえ、検討したい。

<委員長>

ご相談いただいて、良い方法を考えていただきたい。

<委員>

昨年の佐賀県より滋賀県は近隣県であるため、応援の方も増えることが予想される。そのため、駐車場の台数を心配している。色々とシミュレーションをしていただいて、三木ホースランドパーク内の駐車場で賄えれば問題ないかと思うが、その次の段階も考えておいた方が良いかと思う。

<委員>

警備員の関係で、リハーサル大会は26名で対応したことだが、本大会も同様人数となるのか。また、夜間の警備人数は何名か。

<事務局>

昼間は、リハーサル大会と同様の人数の配置を予定している。夜間については、厩舎エリアも含め3名～4名での巡回を予定している。

審議事項(2) わた SHIGA 輝く国スポーツ馬術競技会馬事衛生対策実施要項の一部改正（案）について

※ 事務局より説明

⇒原案どおり承認

【質疑・意見】

<副委員長>

輸送日の7日前から参加馬の体温測定を行うとあるが、罰則はあるのか。

<事務局>

リハーサル大会の際は、報告が遅れた方もいたが、報告がない都道府県には、こちらから連絡する対応をしていた。本大会でも同様に報告がない場合は、状況を確認し、異常がないことを確認した上で来ていただく対応としたいと考えている。

<副委員長>

それは罰則ではなく努力義務である。公共の施設を使用するので、守れといったことが守られない場合は、罰則があるのが当たり前であるかと思うので、内規でもよいので決めて記載したほうが良いと思う。

<事務局>

マニュアルで運用の方法は定めたいと思っている。事務局としては、努力義務として、罰は無いが徹底をさせるという想定をしていた。ご指摘を踏まえ、運用に関しては、日本馬術連盟の獣医師団長とも相談したいと思う。

ちなみに、罰則というのは、たとえば競技に参加できないということか。

<副委員長>

入厩をさせないということである。

以上。